

**川崎市議会** 2020年(令和2年)第1回定例会  
 予算審査特別委員会 質疑

3月12日に開催された市議会定例会の予算審査特別委員会で山田議員は、①地球温暖化対策について、②市営住宅の長寿命化対策について、③市民館・図書館等の管理運営体制についての3点を取上げ質問しました。



**地球温暖化対策を推進**

**市が脱炭素社会を宣言!**

▶ 近年の巨大台風や集中豪雨などは、地球温暖化によるもので、温室効果ガスが原因とされています。山田議員は、市として温室効果ガス削減に向けた決意を市長に質しました。市長からは、2050年の脱炭素社会実現に向けしっかり取組むと力強い決意が示されました。



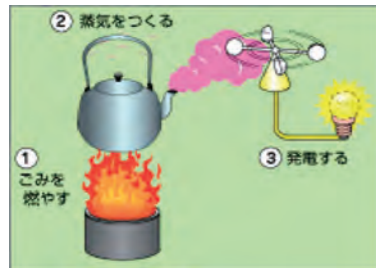
**行政の率先した取組みを!**

▶ 山田議員は、率先して市役所が温室効果ガス削減に取り組むべきと質しました。  
 ▶ 市は、市役所が民生部門で市内最大の排出事業者であり、率先して取組みを推進する。今後は、令和12年度までに庁舎や学校等の約400施設でLED化を図り、市役所の目標値の半分(年間約3万2,200tの削減)を達成すると回答しました。

**環境先進都市かわさき**

**新たなエネルギー政策に期待!**

▶ 山田議員は、これまでごみの減量化やサーマルリサイクルに積極的に提言。先の議会に指摘した廃棄物発電の効率化が、新年度計画に反映。そこで、令和5年度より稼働する橋処理センターの効率発電の活用と効果を質しました。  
 ▶ 市は、現在建設中の橋処理センターが稼働すれば8,000キロワット時の余剰電力を供給できる。事業開始を見据え電力の地産地消など民間を活用した運用を検討したいと回答しました。



**暮らしの視点で!**

**水回りとエレベータ整備は不可欠!**

▶ 山田議員は、市営住宅の長寿命化改善工事に、水回り、エレベータ整備が喫緊の課題と指摘。特に、宮前区のエレベータ設置率が市内で最低、せめて1団地1棟の確保をと質しました。市は、新年度に有馬第1住宅等8団地17棟で改善工事を行う、その際、水回りやエレベータを一定の割合で検討したい。また、建替を計画する中野島住宅と高石住宅では、エレベータの設置をするかと回答しました。



**大学生の入居を検討!**

▶ 山田議員は、狭隘な住戸が、高齢者用単身住宅向けに計画されており、団地の高齢化を加速しています。そこで、大学生に団地自治会等の協力活動や支援を課すことを条件に募集する事を求めてきました。市は、提案を踏まえ大学等と意見交換会等を開いてきた。実施に向け調整をしており、大学生の入居に向け検討したいと回答しました。

**図書館の管理運営体制を見直せ**

**地域ニーズに応えた図書環境を!**

▶ 山田議員は、図書館に対するニーズが高まり多様化する中、市の基準が各区1館の図書館体制であることを柔軟に見直すべきとし、鷺沼に移転が決まった新宮前区図書館とともに現宮前図書館の活用について見解を質しました。市は、令和4年度の(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針のなかで図書館サービスの可能性についても検討すると答えました。また、山田議員は、身近な図書館としての学校図書室の活用について言及。教育長は、現在、小学校9校、中学校1校で実施しており、今後とも充実を図っていくと答えました。



宮前図書館が入る「宮前市民館」

**電子書籍 導入へ!**

▶ 山田議員は、図書館サービスの拡充として電子書籍の導入や図書アプリ、図書館カウンター及び返却ポストの拡充を求めました。市は、電子書籍等の導入をはじめICT技術の活用等を検討し、地域で身近に感じる図書館を目指したいと回答しました。



**●●晴ればれレポート●● ~いざという時のために~**

**川崎市に水防センターの設置を提案!**

▶ 山田議員は、昨年の台風19号による浸水被害を教訓に、市の防災体制の強化として多摩防災センターを、水防センターとして活用するよう提案しました。



公明新聞に掲載



**新本庁舎工事に提言**

▶ 山田議員は、新本庁舎建設に対し昨年の台風19号による浸水被害で電気設備等が故障した事を教訓に配置計画の見直しや、防水扉・シャッター等の整備の必要性を質しました。市は、新本庁舎が災害対策の中核拠点として業務継続する事が重要と考える。重要設備は水没しない4階以上に配置、地下駐車場等には防潮板や防水扉を設置すると回答しました。



令和4年度完成の新本庁舎の予想図

**山田はるひこの晴ればれ市民相談 お気軽にご相談ください!**

TEL 044(788)1858 FAX 044(788)2695



Q- 山田はるひこ

検索